

# 大手前だより

## 総会を開催します

■総会を開催します	1	■クラブ便り	5	■名簿委員会、国際グリン賞	10	■会員からのお便り	16
■会長ご挨拶	2	■会務報告書	6	■母校国際交流事業報告	10		
■校長ご挨拶	2	■年会費・賛助金納入のお願い	6	■IT委員会、行事委員会より	11		
■六十二年目の卒業式	3	■予算・決算報告書	7	■学年会だより	11		
■母校便り	4	■金蘭会ホールご案内	8	■支部この1年	15		

金蘭会ホームページ「WEB金蘭会」  
(http://kinran.jp)

# 総会を開催します

十月十二日(土)午後二時半からです  
(場所:ドーンセンター)  
(母校より徒歩5分)

母校の現状を知り、

会員相互の交流を楽しみましょう!

### 第I部 総会

午後一時半～四時  
(無料)

挨拶

ビデオ上映

学校案内

母校在校生による国際交流発表

母校では将来の日本をリードし国際社会に貢献できる人材の育成をはかるため金蘭会が後援して国際交流事業をすすめています。その中心になるのが英国ペンングライスコ校との交流です。毎年七月に約二週間、交互に訪問をし、今年で六年目になりました。

ビデオ上映

昨年十一月母校で举行された

六十二年目の卒業式

抽選会

母校吹奏楽部演奏

卒業生によるコーラス・吹奏楽演奏

参加者には

豪華景品が当たる

一流ホテルへ宿泊券  
電子辞書・フラワーギフト券等

### 第II部 茶話会

午後四時～五時  
(無料)

※自由参加

### 第III部 懇親会

午後六時～八時  
(有料)

場所 東天紅(OMMビル20階)  
会費 八千円

☆平成の卒業生は第I部総会から参加の場合、千円(ただし、平成元年～15年の卒業生は、年会費も納入の方に限ります。)

### おまけ

・母校見学

希望される方は、十一時半に母校校門に集合してください。ご案内します。懐かしい食堂も昼食時(十一時半～十二時半)営業していただきます。

### ◆抽選会景品 ご寄付のお願い◆

ご協力いただける方は、八月三十一日まで金蘭会事務局までご連絡ください。

TEL (06) 6942-3947  
(火木 午後一時～四時まで)  
FAX (06) 6942-4124

### 申込方法

お申し込みは、同封の「振込用紙」にご記入ください。

・総会に關しては、

「出席」「欠席」のどちらかに○  
・懇親会に關しては

金額を記入

メ切 九月十日(水)

### 周辺アクセス

ドーンセンター(大阪府立女性総合センター)  
TEL(06) 691018500

### 交通

京阪天満橋駅、地下鉄谷町線天満橋駅  
○番出入口から東へ約50m、母校より徒歩5分  
東天紅(大阪マーチャントイズスマートビル20階)  
TEL(06) 694411015



## ご挨拶



会長 榎 博  
(S27卒)

金蘭会会員の皆様、その後益々お元気に、全国各地で、色々な分野に於いて活躍されておられるご様子を承り、何よりの事とお慶び申し上げます。昨年十月十二日に、昭和二十年卒の皆様方を対象に、六十二年目の卒業式が、母校のご厚意により学校行事とし

て執り行われ、一〇〇名を越える方が出席され、六十二年振りに、当時の卒業証書の複製版を手にされました。卒業式に先立って、戦時下の大手前高等女学校の学園生活について、卒業生の方々から在校生に話をされ、大変な感動を呼び、テレビ・ラジオ・新聞でも大きく取り上げられたことは、多くの会員の皆様もご存知の通りであります。

母校が現在、教育活動の中で他校に比して誇れる取組みに、国際交流と集中セミナーの二つがあげられます。この取組みは、会員の皆様のご支援ご協力によって支えられ、特別事業の形で運営の一助となっていることは素晴らしいことであり、御礼の申し上げます。日本の同窓会は、欧米に比べて家族

的組織の色彩が強いという特色を持っていると云われています。この特色を生かしていくには、今まで以上に、会員相互の親密化をはかると共に、母校の先生並びに生徒の皆さんとお互いの理解をより深めることが肝要ではないかと思えます。その意味からも六十二年目の卒業式に出席された在校生に感動を与えたこと、更に先に触れた母校の誇れる二つの取組みの継続的实施に同窓会の支援が下支えになっていることは、的を得たものといえましょう。今般母校は、国よりスーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、今後国際社会に対応できる日本のリーダーで特に理数系の優れた人材の育成に一段と力を注がれることになり、同窓会としても更なるバックアップに努めたいと思えます。

本年度は、久し振りに総会を開催いたしました。この内容も会員の皆様に出るだけ母校の現状、生徒の皆さんの活動状況を見ていただき、より理解を深められ、家族的組織の特色を持つ私達の同窓会をより充実させていきたいと考えています。そして幅広い年代の方々にご参加いただけるよう工夫しておりますので、一人でも多くの方々のご出席をお待ちしております。何はともあれ当会の発展は、会員皆様方のご理解・ご協力なくしてはあり得ない訳です。本年は残された任期の最後の一年、役員一同有終の美を飾るべく努力して参りますので、会員の皆様方の倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## ご挨拶



校長 齋藤 良昭

金蘭会会員の皆様には、いつもお世話になりありがとうございます。

一昨年の創立百二十周年記念式典、昨年の六十二年目の卒業式と、卒業生と在校生のところがつながる大切な行事を成功裏に終えることができました。

卒業生の皆様のご協力、ご支援によって、生徒は大手前の歴史と伝統にふれ、よき学びを体験できたと思えます。

また、金蘭会からの援助で実施している英国ウエールズとの姉妹校交流は、昨年度で五年を経過しましたが、英国交流をきっかけとして国際交流もずいぶん盛んになりました。また、同様にご支援いただいている冬の集中セミナーも年々充実したものとなっております、厚くお礼申し上げます。

今春の進路状況は、東大、京大、阪大など日本を代表する難関大学への合格者を増やし、国公立大に一八七名、私立大学に一三三名が進学いたしました。

大阪府よりエル・ハイスクールの指定を受け、五年間指導を工夫し、高い学力を育てる取り組みをしてきた結果であると思えます。また、昨年度から始まった新通学区の影響は今年も続いており、枚方・寝屋川などの旧四学区からの入学生徒が半数以上になりました。この傾向は今後も続くものと思われまます。

年度当初、大手前高校は文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールに指定されました。これは、将来国際社会で活躍できる理数系人材を育成するための教育課程を研究開発する指定校ですが、大手前がこれまで取り組んで

きた理数教科の取組み、国際交流や集中セミナーなどの蓄積が評価された結果であると思えます。今後は一層大学との連携や国際交流に励み、研究課題を達成できるよう努めてまいります。また、この取組みのために運営委員会などの協力組織をつくり、卒業生の方々のご協力をお願いするつもりです。

新しい時代にふさわしい取組みを開始して大手前の教育を一層充実させてまいりたいと思えますので、金蘭会の皆様方の母校に対するご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 「六十二年目の卒業式」

昨年四月、齋藤校長先生から、「昭和20年卒業生の方の卒業式を今年の秋にさせて頂こうと考えています。その時、皆さんの在学中の体験談を在校生に聞かせてほしいのです。」という連絡を頂きました。

同窓会の理事として毎年卒業式に参列して「現在の生徒さんはいいですね。立派な卒業式がして貰えて。私達は戦争末期、学徒動員の工場で、学校へ集まることなく、卒業式はありませんでした。」と話していたのを心に留めて計画して下さったとの事でした。

まさか、今になって卒業式をして頂けるなど夢にも思っていなかった私達は大喜びでした。早速五月の学年会で皆さんに報告し、「在学中の思い出を書いてほしい。」と頼みました。

とはいえ、62年以上も経った遠い昔の事。戦争の混乱期

でもあり、一人ひとりの体験は様々で、提出された原稿も元々、金蘭会館へ集まった20人余りの人達と話し合いました。

先生や金蘭会役員の方々の助言も頂いて、学校生活、授業やクラブ活動、食堂の事など楽しかった話題も交えて、年々に戦時色が濃くなり、勤労奉仕や軍需工場への動員で学校での授業は全くなくなっていったこと、度重なる大空襲で家が全焼した人、父や兄を軍隊へ召集されたり、強制疎開で家族と遠く離れて、金蘭会館へ泊まり動員先の工場へ通ったこと等、発表者を八名としてそれぞれの体験を加えてまとめました。

十月十二日（金）、爽やかな秋晴れの下、懐かしい母校へ集まった卒業生達（48名中、住所判明36名、内102名の出席）は、久しぶりに会う友人達と女学生時代に戻っての会話がはずみました。控え室の金蘭会館から在校生の誘導を受けつつ式場へ入場。七百名余りの在校生の拍手に迎えられました。

第一部、講演会では代表者八名の体験談に感動して涙を

拭く在校生の姿もありました。

続いて、第二部の式典。学校側の温かい配慮で現在の卒業式と同様、国家や校歌斉唱、復元された卒業証書授与、式辞、祝辞、送辞、答辞、そして蛍の光も斉唱して厳粛裡に終了しました。

式後再び金蘭会館で役員の方々の茶葉接待や写真撮影などがあり、華やいだひとときを過ごしました。更に、学校側で「六十二年目の卒業式」の冊子を発刊して下さり、在校生の感想や事前学習の記録も加えて出席者に送付して下さいました。

以上今回の行事に当たり、計画・実行・まとめの冊子等、多忙な校務の中を私達の為に本心に心温まる御配慮を頂き、参加者一同深く感激、感謝いたしました。

齋藤校長先生、戸田教頭先生、講演のまことにご尽力頂いた川端・谷岡先生や全教職員の皆様、金蘭会役員の方々の皆様、そして「サポーター」を始めとした生徒自治会の皆様様に心より厚く御礼申し上げます。

昭和二十年・四卒 苗代 壽子

## 六十二年目の卒業式

### 62年ぶりの卒業式

戦時中の混乱期に創立した前高女が参加  
旧大手前高女 在校生に戦争語る  
卒業式に先立って、在校生に戦争の体験を語り、戦時中の生活を伝える。卒業式に先立って、在校生に戦争の体験を語り、戦時中の生活を伝える。卒業式に先立って、在校生に戦争の体験を語り、戦時中の生活を伝える。

# 平和の証し卒業式

## 軍需工場で「海ゆかば」歌って別れて62年

大阪府立大手前高校（大阪市中央区）で、今日（12日）、前身の旧別大手前高等女学校の卒業生らが参加して62年ぶりに卒業式が開かれる。戦争中、軍需工場に動員され、卒業式が開けなかった1944年卒業の元生徒らの願いで、同校が計画した。戦後、大阪府立の別大手前高等女学校として、在校生に戦争の体験を語り、戦時中の生活を伝える。卒業式に先立って、在校生に戦争の体験を語り、戦時中の生活を伝える。



卒業式を前に、戦時中の体験を語り合う苗代さん（左）ら。大阪府立大手前高校で。

今年3月、卒業式に招かれた同窓会役員の前で、苗代さんら（左）が戦時中の体験を語り、戦時中の生活を伝える。卒業式に先立って、在校生に戦争の体験を語り、戦時中の生活を伝える。

### 62年…変わらない母校の

### 62年ぶりの卒業式

年々戦時中の物不足の話を聞いたり、軍需工場に動員された話を聞いたり、戦時中の生活を伝える。卒業式に先立って、在校生に戦争の体験を語り、戦時中の生活を伝える。

100人 念願の出席へ

# 母校便り

◆本年度の人事異動(順不同)

〔退職された方〕

光岡 しのぶ 先生(英語)

府立香里丘高校へ(再任用)

川内 憲一 主事(事務)

〔転勤された方〕

奥田 育秀 先生(数学)

府立市岡高校へ

辻田 弘 先生(数学)

府立住吉高校へ

井上 正之 先生(保健体育)

府立豊島高校へ

尾上 宏美 先生(家庭)

府立布施北高校へ

合田 博三 主査(事務)

府立伯太高校へ

〔着任された方〕

岡 広之 先生(数学)

府立八尾北高校より

古川 良祐 先生(保健体育)

府立布施北高校より

黒須 理絵 先生(家庭)

府立池島高校より

谷 悠子 先生(英語)

府立福井高校より

元木 千賀子 先生(養護)

府立八尾翠翔高校より

西浦 壽美子 主査(事務)

府立大学羽曳野Cより

嶋地 孝行 主査(事務)

府立東住吉高校より(再任用)

仲尾 正輝 主査(事務)

府立清友高校より(再任用)

〔講師は含まれていません〕

(お詫び)昨年度転勤された方に以下の方

のお名前が漏れておりましたので、お詫

びするとともに、ご報告いたします。

室谷 千恵子 先生(国語)

府立かわち野高校へ

## 第十三回金蘭会母校支援文化行事

十月十七日(水)、京都大学再生医科学研究所の田畑泰彦教授を森之宮の青少年会館にお迎えし、文化講演会(演題は「サイボーグの夢を見続けて」)が行われました。田畑先生は大手前高校を昭和52年に卒業され(29期)、京都大学工学部に進学後、医学、薬学をも修められ、現在、再生医療に関わる研究をされています。

講演は、先生の高校時代のことや、サイボーグを作りたくて工学部に進学を決めたこと(医学部ではなく)、その後、病気に苦しむ患者さんが必要とする生体材料を作るためにいろいろな学問を勉強されたこと、など多岐に渡るお話をいただきました。また、やりたいことが見つからなければ自分でつくれば良い、とか、相談できる友人をたくさん持つとう、というような言葉が印象に残っている生徒も多いかと思えます。

講演後、生徒たちから質問が数多く出ました。また、壇上で実際の生体材料を見せてもらおう生徒もいました。田畑先生は、後輩たちに話す機会をもつことができるとも楽しかった、と言ってくれました。

### 体験入学イベント

六月二十八日(土)、大手前高校の体験入学が行われました。今後の体験入学および学校説明会については学校HPをご覧ください。

### 訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

平成十九年四月十日

井手 昂 先生

平成十九年六月

幸田 全可 主査

平成二十年二月九日

木元 則子 先生

### ◆平成二十年度

#### 主な大学合格状況

東京大学	3名
京都大学	28名
大阪大学	31名
神戸大学	27名
大阪市立大学	22名
大阪府立大学	21名
大阪教育大学	10名
関西学院大学	71名
関西大学	92名
同志社大学	79名
立命館大学	115名
早稲田大学	8名
慶応大学	4名

### スーパーサイエンスハイスクールの指定を受ける

今年度から5年間、母校は国からスーパーサイエンスハイスクール(SHS)に指定されました。理数科のカリキュラムを一部改訂し、世界に向けての積極的な情報発信力を持ち、広い視野に立った「科学するところ」と高度な専門性をもつ科学者を目指す生徒を育成することを目的として研究開発を行うことになりました。

具体的には、科学への興味・関心を喚起する「ブレ・サイエンス研究」や「数リンピック」、研究の方法・発表技術、英語力を身につける「信念」、数学分野の科学的検証法を身につける「理想」、課題研究を行いその成果を英語で発表する「サイエンス研究」、海外の高校生を招待して交流を図る「高校生科学会議」などを行います。

### 井手先生を偲んで

平成十九年九月九日

二年六組(三年は四組ですが)に在籍していた亀井です。井手先生の訃報がS46卒のメーリングリストに出てビックリしました。とてもお元気(なにせ七十二才で太平洋単独無寄港横断をされた)な方だけに簡単に信じられません。それで思い切つて先生の自宅に電話をしました。奥さんが私の名前を覚えて下さっていて、いろいろとお話を聞かせてもらいました。奥さんの承諾をいただいたので、簡単にその内容を紹介します。

井手先生は今年の四月十日に亡くなされました。享年八十一歳。約五年前まで、現役で大阪星光学院の高校生達に数学を指導されていました。お辞めになった後も、生徒や保護者の強いご希望で、数学を教える教室を谷町九丁目に開かれました。私も森ノ宮に教室があるので、何度か電話でお話をしました。とてもお元気で、生徒に数学を教えるのがなによりも好きという様子でした。

二〇〇一年十一月十七日に、二年六組のクラス会にお越しになったとき、「医者には嫌いで薬も飲まない」と伺いました。昨年十一月頃に体調がおかしくなつてからも、病院に通うことがなかったそうです。それどころか、二階にある寝室への階段が大変になつても、さらに自宅から谷九の教室まで電車で行けなくなつても(入試までタクシーで教室通いをされたとか)病院嫌いを貫徹されたのには脱帽です。大腸がんからの転移がひどく、最終的に入院してすぐに意識不明になられたそうです。家族葬にしたいとご夫婦で事前に決めていて、誰にも連絡されなかつたとか。まるで逝くときは周囲に迷惑をかけたくないという先生の計画通り、全て進んだみたいに見えると思います。

人生の最終段階まで大好きなヨットを愛し、大好きな数学を教えて、旅立つて逝かれた井手先生、これから老いを迎える我々になにかを教えて下さつたような気がします。謹んで恩師のご冥福をお祈りします。

S46卒 亀井 康泰

# クラブ便り

## 文化系

- ESS部  
第46回大阪高等学校英語暗唱・弁論大会 決勝進出(上位10名)  
第47回大阪高校英語暗唱弁論大会2名出場
- 文芸部  
例年、春の文化系クラブ発表会、秋の文化祭に合わせて部誌「傾いた天井」を発行し、作品を発表 通常は週1〜2回様々なゲームを取り入れて活動。
- 美術部  
第22回第3学区高等学校美術工芸展に出品  
第59回大阪府高等学校美術工芸展に出品(絵画)、2名奨励賞受賞
- 軽音楽部  
校内では文化系クラブ発表会・文化祭で発表、その他ライブを実施  
校外ではスニーカーエイジに毎年出場(グランプリ大会出場経験あり)
- 吹奏楽部  
第5回定期演奏会「フェリーチェ・コンサート」(H20.4.5) 鶴見区民ホール  
近畿高校芸術文化祭(大阪大会)開会式の部参加、吹奏楽部門で旭高校と合同演奏  
大阪府音楽会、第3ブロック音楽会、四天王寺ワッソ楽隊に参加  
大阪府アンサンブルコンテスト 木管8重奏銀賞  
吹奏楽コンクール北地区大会銀賞  
狭山市ソロコンテスト フルート・チューバ金賞、関西大会出場  
校内の文化祭・文化系クラブ発表会・体育大会・卒業式・入学式などで演奏
- 茶道部  
文化祭・国際交流行事他、校内にて年に数回のお茶会開催  
大阪府立大学看護学部茶道部と交流、茶会参加、平成19年度は校内で4月に新入生歓迎茶会、5月に3年生引退茶会、7月に英国交流歓迎、9月に文化祭、10月に中国交流歓迎、11月に開炉、12月にクリスマス茶会とほぼ1ヶ月ごとに茶会を作法室で開催。対外的にも活動している。  
1月に初茶、韓国交流生歓迎会を予定。
- 演劇部  
平成18年度大阪府A地区演劇研究大会出場、優秀賞、創作脚本賞受賞  
平成19年度大阪府A地区演劇研究大会出場
- 写真部  
大阪高等学校文化祭奨励賞(平成16年度)、近畿地区大会文化祭優秀賞(平成17年度)
- 生物部  
長期にわたってウーパールーパー(アホロートル)の飼育を継続。
- 理化学研究部  
3ヶ月ごとに1テーマを取り上げ実験を行う。  
(実施したテーマ:色素増感太陽電池、大気中の二酸化窒素の検出・定量など)  
部員毎に各自で考えたテーマに基づいて研究活動  
テーマ例:食品中の塩分分析、色素の抽出と分離  
温室効果のモデル製作、ベルセウス座流星群の観測
- 書道部  
古典の臨書を基礎に創作にも取り組んでいる。国際高校生選抜書展には大字書を出品。  
国際交流で外国からのお客様がある時には一緒に書道を楽しむ。  
国際高校生選抜書展入選
- 漫画研究部  
校内行事である文化系クラブ発表会と文化祭に合わせて年2部誌を発行。  
文化祭ではオフセット印刷による部誌も別途発行した。
- アットホーム同好会  
クリスマスやハロウィンなどのイベントにあわせてパーティーをしたり、お菓子講習会を開いている。2007年度の文化祭ではお菓子の家を作成。  
活動日は水・金の週2日(自由参加)。英国交流として和菓子作りも予定している。
- ボランティア同好会  
文化祭の時に、アジアの子供たちの絵画を展示して、ユニセフグッズと月桂樹の葉を販売。  
収益の28,500円をユニセフとアジア協会アジア友の会に送った。  
文化祭で販売する小物を作っている。  
4月あしなが学生募金の募金活動に参加
- 園芸同好会  
中庭に植える季節の花の選定、植え込み、水遣り、草抜き等の世話。  
校庭外周の緑の手入れ  
野菜の種類からの成長を観察、収穫、次年度への引き継ぎ
- 数学研究同好会  
平成18年度日本数学コンクール優秀賞  
平成19年度文化祭の展示部門に参加
- 将棋同好会  
第4回大阪府高等学校将棋選手権夏季大会-男子の部個人戦出場6名、S級3位  
第27回近畿高校総合文化祭将棋部門個人戦S級出場
- 放送委員会  
自治会行事(新入生オリエンテーション)の部活動紹介、コーラス大会、文化祭、体育大会)での案内放送を行ったり司会を務めたりしている。
- 図書委員会  
4月、7月、11月、1月にLibrary Timesを発行。  
コギに「図書委員の推薦図書」を掲載。昼休み・放課後の図書貸出・整理等の業務

## 運動系

- 水泳部  
競泳の部・飛込みの部:インターハイ出場(平成18年度)  
大阪府新人大会入賞数人(平成19年度)
- 登山部  
夏合宿、平成19年度は白馬三山 その他、近畿の山に登る  
夏合宿、H18...穂高岳、H17...八ヶ岳南部、H16...白馬岳〜朝日岳  
夏合宿...今年度も北アルプス方面へ、その他近畿の山に登る。
- 硬式野球部  
平成20年度、春季大会4回戦進出  
平成19年度、春季大会1回戦敗退、夏季大会2回戦進出、秋季大会3回戦進出

- 陸上競技部  
平成19年度 全国インターハイ大阪予選女子800m 2年生女子第8位  
近畿インターハイ(6/14〜17)に出場  
平成19年度 全国インターハイ大阪予選女子800m2位、近畿インターハイ大会出場  
大阪高校総体2年女子800m1位、近畿総体2年女子800m2位、日本ユース(大分県)女子800m4位  
大阪高校秋季地区大会  
男子総合5位、4×400mリレー15位、5000m1位、400m3位、1500m3位  
女子800m1位、3000m1位(大会新記録)  
平成20年度 大阪高校陸上競技選手権大会第1・第2地区予選  
女子800mシード権、男子500m4位、男子円盤投6位  
国際グランプリ(ワールドアスレチックデー)女子800m1位
- ソフトテニス部  
平成19年度大阪府軟式テニス公立校大会 中央大会出場(男子)  
平成19年度Winter Cupベスト4進出(女子)  
平成20年度大阪府春季大会中央大会出場(男子)
- 硬式テニス部  
大阪高校総体本戦出場(H19女子単)  
平成19年度 大阪府春季テニス大会シングルス 女子本戦出場  
平成19年度 大阪府秋季テニス大会団体戦 女子本戦出場  
平成20年度 大阪府春季テニス大会シングルス、ダブルス女子本戦出場
- 柔道部  
インターハイ大阪府予選出場、近畿大会大阪府予選兼新人大会出場、  
大阪市北地区大会個人優勝  
大阪市北地区大会・高校選手権個人優勝  
インターハイ、新人戦出場
- サッカー部  
春季大会(4月)大阪府高校総体(9月)新人サッカー大会(1月)の三度の公式戦、大阪U17サッカーリーグ、定期戦、練習試合を年間40試合以上行っている。今年度(H20)の春季大会では4回戦まで進出した。  
春季大会後に結成された新チームではU-18のリーグ戦を戦いながら、夏の大会に向けて練習に励んでいる。
- 卓球部  
男子:平成20年度大阪府選手権大会シングルス64位、団体32位  
平成19年度大阪府高校総体団体戦ベスト16  
平成19年度大阪府新人卓球大会シングルス ベスト16、大阪府高校総体ベスト32、  
全日本卓球選手権大会・大阪府予選会ジュニアシングルス ベスト32  
大阪国際招待卓球選手権大会・招待選手1名  
女子:平成19年度大阪府新人卓球大会シングルス ベスト16、大阪国際招待卓球選手権大会・招待選手1名
- 軟式野球部  
平成19年度春季大会2回戦進出  
夏の全国高校軟式野球選手権大会大阪予選でも2回戦進出  
秋季大会3回戦進出、春季大会3回戦進出
- 男子バレーボール部  
平成19年度 春季大会部別2部リーグ2位  
平成19年度 新人大会部別2部リーグ2位  
平成20年度 春季大会部別リーグ3位
- 女子バレーボール部  
平成19年度 春季大会部別2部リーグ優勝、1部リーグ昇格  
平成19年度 インターハイ予選ベスト32(4回戦進出)  
平成19年度 新人大会部別1部リーグ2位
- 男子バスケットボール部  
全国高校バスケットボール大阪府予選、大阪総体新人戦3回戦敗退 練習試合15勝7敗  
大阪府高校総体 5回戦 対汎愛高校 敗退 ベスト32  
国体予選 5回戦 対大塚高校敗退 ベスト32、練習試合21勝4敗
- 女子バスケットボール部  
全国高校総体大阪府予選・大阪総体予選・大阪府高校総体新人戦に出場。  
西地区府立高校大会Cリーグ2位  
大阪府高校総体 1回戦 対枚方高校、国体予選 対四条畷学園 1回戦敗退
- ラグビー部  
年間練習試合約30試合、夏合宿(4泊5日)実施  
春季大会(リーグ戦)2勝1敗、近畿大会予選2回戦進出、全国大会予選準々決勝(3回戦)進出
- 剣道部  
平成19年度大阪府立高校第二学区剣道練成大会(男子団体1位、女子個人3位  
平成20年3月)  
第3回大阪公立高等学校剣道練成大会(男子団体・女子団体ともにベスト8 平成20年4月)  
大阪府高等学校剣道新人大会(男子団体・女子団体ともにベスト16 平成20年1月)
- ダンス部  
文化系クラブ発表会、英国交流、文化祭(全日制、定時制)での発表(校内)  
10月24日:日中友好国際交流会に出演  
11月3日:大阪府高校保健体育研究会第48回創作ダンス発表会優秀賞  
11月17日:近畿高校総合文化祭開会式に出演  
平成20年4月オーストラリア・クイーンズランドバレエ団ワークショップに参加、NHKで放送される。  
平成20年5月NHKホールイベントに出演
- バドミントン同好会  
週2回、本校中庭で自主練習。長期休暇中に3〜4回自主練習
- 合気道同好会  
平成19年度より活動開始。10名程で活動中。本年度末の黒帯取得を目指す。  
春日丘高校、北千里高校、北野高校や京都大学との合同稽古に参加  
本校の国際交流行事にて合気道の紹介を行った。

# 会務報告書

平成十九年度 事業報告

## 一、一般事業

### (1) 定時評議員会

平成十九年四月二十一日(土)  
於 金蘭会ホール

(出席五十二名・委任状九十八名 成立)

①事業報告 決算報告 承認

②事業計画 収支予算 承認

### (2) 理事会

第一回 平成十九年 五月 十二日(土)

第二回 平成十九年 七月 七日(土)

第三回 平成十九年 九月 十五日(土)

第四回 平成十九年十二月 八日(土)

臨時 平成二十年 一月 十九日(土)

第五回 平成二十年 三月 八日(土)

第六回 平成二十年 四月 十九日(土)

### (3) 「大手前だより」発行

平成十九年七月

新入会員歓迎会

平成十九年九月九日(日)

於 金蘭会ホール  
(新入会員百二十八名・先生十一名 出席)

(5) 新年互礼会  
平成二十年一月十九日(土)  
於 金蘭会ホール  
(来賓三名・会員五十七名 出席)

## 二、特別事業

(1) 母校主催事業に対する援助

(2) 母校国際交流事業に対する援助

(3) 第十二回国際タリム賞の最終選考と贈呈

(4) パソコンスクール運営

(5) 金蘭会セミナー

第一〇七回 平成十九年 四月 二十日(金)

第一〇八回 平成十九年 五月 十八日(金)

第一〇九回 平成十九年 六月 十五日(金)

第一一〇回 平成十九年 七月 二十日(金)

第一一一回 平成十九年 九月 二十一日(金)

第一一二回 平成十九年 十月 十九日(金)

第一一三回 平成十九年十一月 十六日(金)

第一一四回 平成二十年 一月 十八日(金)

第一一五回 平成二十年 二月 十五日(金)

第一一六回 平成二十年 三月 二十一日(金)

## 賛助金ご協力のお礼とお願い

前年度も例年と変わらないご支援を賜り、671名188万円の賛助金を戴いたしました。ご厚意を戴いたしました会員の方々に改めて感謝申し上げます。お陰様で財政基盤が安定して、同窓会の事業運営を円滑に執り進めることが出来ております。

現在母校の教育活動の中で、他校に比して誇れる取組みである国際交流と集中セミナーの運営に当たって、同窓会が及ばずながら支援致しておりますが、ご協力いただいております賛助金が大いに役立っておりますことをご報告いたします。

今般母校が国よりスーパーサイエンスハイスクールの指定を受け一段の飛躍が期待されます。同窓会でも更なるバックアップに努めてまいります。引き続きご厚意を頂戴いたしたく重ねてお願い申し上げます。事情ご賢察の上、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

(会長 升谷 博)

## 平成二十年年度 事業計画

### 一、一般事業

#### (1) 定時評議員会

平成二十年四月二十六日(土)  
於 金蘭会ホール

(2) 「大手前だより」発行

平成二十年七月

(3) 新入会員歓迎会

平成二十年九月七日(日)  
於 金蘭会ホール

(4) 新年互礼会

平成二十一年一月二十四日(土)  
於 金蘭会ホール

(5) ホームページ運営

### 二、特別事業

(1) 総会開催 平成二十年十月十一日(土)  
於 ドーンセンター

(2) 母校主催事業に対する援助

(3) 母校国際交流事業に対する援助

(4) 第十二回国際タリム賞予備選考

(5) 金蘭会セミナー

(6) パソコンスクール運営

(7) 役員選出委員会設置

### 三、理事会開催予定日

第一回 平成二十年 五月 十七日(土)

第二回 平成二十年 七月 五日(土)

第三回 平成二十年 九月 十三日(土)

第四回 平成二十年十二月 六日(土)

第五回 平成二十一年三月 七日(土)

第六回 平成二十一年四月 十八日(土)

### 四、金蘭会セミナー開催予定日

第一一七回 平成二十年 四月 十八日(金)

第一一八回 平成二十年 五月 十六日(金)

第一一九回 平成二十年 六月 二十日(金)

第二〇〇回 平成二十年 七月 十八日(金)

第二〇一回 平成二十年 九月 十九日(金)

第二〇二回 平成二十年 十月 十七日(金)

第二〇三回 平成二十一年十一月 二十一日(金)

第二〇四回 平成二十一年一月 十六日(金)

第二〇五回 平成二十一年二月 二十日(金)

第二〇六回 平成二十一年三月 二十七日(金)

## 金蘭会活動を支えるのは皆様の年会費です

昨年も年会費¥20000(卒業後5年間は免除)を納めていただいた2872名の皆様ご協力本当に有難うございました。また、6年前より賛助金(¥20000)の呼びかけをさせていただきまして、さらなるご負担にもかかわらず、昨年938口もの厚意を頂戴いたしました。本当に有難うございました。

お陰様で、昨年度も金蘭会活動を滞りなく行うことができました。会員皆様の協力に感謝しております。母校の国際交流支援については、昨年約東の5年が経過しましたが、有意義な事業として定着しているため、支援を継続することになっております。

今年度は総会が10月11日(土)に開催されます。ドーンセンターでの第一部、第二部については無料としておりますので、多数の参加をお待ちしております。(第三部の懇親会は有料です。)

決算書や予算書でお分かりのように、金蘭会活動を円滑に維持して行くには、幅広い皆様の「協力」と「支援なしには成り立ちません。

今年度の年会費は平成15年までに卒業された方によりしくお願いいたします。(平成16-20年卒業の方は免除)(注 各支部の年会費とは異なります)

年会費(¥20000)及び賛助金(¥20000)などでも「大手前だより」に同封の振込用紙をご利用ください。

一人でも多くの皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、振込をしてくださる方へお願いがございます。郵政民営化後に郵便振込の窓口扱いの手数料が高くなりました。機械式(ATM)の方が割安となりますので、ご面倒をおかけしますが、ATMのご利用をお願いいたします。(銀行のATMより簡単な操作です。振込用紙を所定の位置にセットして画面の指示に従ってください。)

(会計理事 S40卒 田原由夫)

振込はATMをご利用ください

振込はATMをご利用ください

# 平成20年度予算

# 平成19年度決算報告書

(平成20年 3月31日現在)

## 一般会計

### (1) 収入の部

単位(円)

科目	予算	19年度決算	備考
入会金	1,580,000	1,565,000	@5000
賛助金	2,000,000	1,877,500	
会費	6,000,000	5,744,000	@2000
名簿売上	150,000	591,475	
会館利用料・他	250,000	321,469	
財団法人金蘭会補助金	400,000	300,000	
寄付	-	317,500	
(小計)	(10,380,000)	(10,716,944)	
前期繰越剰余金	18,813,762	16,864,327	
合計	29,193,762	27,581,271	

### (2) 支出の部

単位(円)

科目	予算	19年度決算	備考
[運営費]	[3,125,900]	[2,687,751]	
事務局費	2,635,900	2,180,320	明細の通り
会議費	140,000	111,597	理事会、評議員会、新年互例会
慶弔費	350,000	395,834	卒業生への祝菓子他
[一般事業費]	[3,500,000]	[2,832,797]	
大手前だより発行費	2,500,000	2,146,349	
新入会員歓迎会	450,000	369,988	
IT関連費	550,000	316,460	
[特別事業費]	[3,460,000]	[2,975,761]	
母校への支援	1,000,000	1,000,000	
母校の国際交流事業支援	400,000	1,200,000	
金蘭会セミナー補助金	300,000	271,621	講師謝礼他
国際گرام賞	500,000	500,000	(関)金蘭会と合同して100万円
文庫資料補修	30,000	0	
会員名簿整備	30,000	4,140	
総会費用	1,200,000	-	
[予備費]	[300,000]	[271,200]	
(小計)	(10,385,900)	(8,767,509)	
次期繰越金	18,807,862	18,813,762	
合計	29,193,762	27,581,271	

### (3) 事務局費明細

単位(円)

科目	予算	19年度決算	備考
運営助手手当	700,000	678,600	
交通費	5,000	0	
事務用品費	350,000	279,550	コピー代、封筒代他
通信費	200,000	152,370	
印刷費	200,000	106,155	払込票他
電話料	110,000	99,963	ファックス料を含む
会館運営費	440,000	276,807	清掃費、空調メンテナンス料他
払込料	300,000	257,810	会費、賛助金等の払込料
リース料	270,900	270,900	コピー機のリース料
雑費	60,000	58,155	火災・損害保険料、振込料他
合計	2,635,900	2,180,320	

#### 付1 改装費

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	1,621,480
内装一部改装	210,000
次期繰越金	1,411,480

#### 付2 金蘭会創立110周年基金

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	5,272,590
金蘭会学園新校舎祝金	200,000
次期繰越金	5,072,590

#### 付3 母校国際交流事業 金蘭会奨学金基金

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	600,000

#### 付4 オレンジツアー準備金

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	478,728

## 1 一般会計

### (1) 収入の部

単位(円)

科目	予算	決算	備考
入会金	1,590,000	1,565,000	@5000×313名
賛助金	2,000,000	1,877,500	
会費	6,000,000	5,744,000	@2000×2872名
名簿売上取支	150,000	591,475	残206冊
会館利用料・他	250,000	321,469	
財団法人金蘭会補助金	300,000	300,000	
寄付	-	317,500	
(小計)	(10,290,000)	(10,716,944)	
前期繰越剰余金	16,864,327	16,864,327	
合計	27,154,327	27,581,271	

### (2) 支出の部

単位(円)

科目	予算	決算	備考
[運営費]	[3,205,900]	[2,687,751]	
事務局費	2,615,900	2,180,320	明細の通り
会議費	140,000	111,597	理事会、評議員会、新年互例会
慶弔費	450,000	395,834	卒業生への祝菓子
[一般事業費]	[4,150,000]	[2,832,797]	
大手前だより発行費	3,000,000	2,146,349	
新入会員歓迎会	450,000	369,988	
IT関連費	700,000	316,460	
[特別事業費]	[3,010,000]	[2,975,761]	
母校への支援	1,000,000	1,000,000	
母校の国際交流事業支援	1,200,000	1,200,000	
金蘭会セミナー補助金	250,000	271,621	講師謝礼他
国際گرام賞	500,000	500,000	金蘭会と合同して100万円
文庫資料補修	30,000	0	
会員名簿整備	30,000	4,140	
[予備費]	[300,000]	[271,200]	
(小計)	(10,665,900)	(8,767,509)	
次期繰越金	16,488,427	18,813,762	
合計	27,154,327	27,581,271	

### (3) 事務局費明細

単位(円)

科目	予算	決算	備考
運営助手手当	700,000	678,600	
交通費	5,000	0	
事務用品費	350,000	279,550	
通信費	200,000	152,370	
印刷費	200,000	106,155	
電話料	110,000	99,963	
会館運営費	440,000	276,807	
払込料	300,000	257,810	
リース料	270,900	270,900	
雑費	60,000	58,155	
合計	2,615,900	2,180,320	

#### 付1 改装費

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	1,621,480

#### 付2 金蘭会創立110周年基金

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	5,272,590

#### 付3 母校国際交流事業 金蘭会奨学金基金

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	600,000

#### 付4 オレンジツアー準備金

単位(円)

科目	金額
前期繰越金	478,728

## 2 財産目録 (平成20年3月31日現在)

平成20年3月31日現在

科目	金額	科目	金額
現金	6,943	金蘭会館改装基金	35,746,520
普通預金	7,328,604	同上改装費残高	1,621,480
(三井住友B/K天満橋)	0	次年度以降会費預り分	738,000
郵便貯金	20,139,970	オレンジツアー準備金	478,728
(中之島郵便局)		金蘭会創立110周年基金	5,272,590
金蘭会館設備	23,971,530	金蘭会奨学金基金	600,000
同上什器備品	11,774,990	未払金	5,500
電話加入権	54,543	剰余金(期末繰越剰余金)	18,813,762
合計	63,276,580	合計	63,276,580

平成20年3月31日

金蘭会 会計理事 田原 由夫

会計理事 平松 美樹

### 監査報告

このたび平成19年4月1日から平成20年3月31日までの決算について、監査をおこないましたところ、適正にして正確でありましたことをご報告申し上げます。

平成20年4月19日

金蘭会 監事 勝部 慶次

監事 藤岡美紗子

# ルご案内



## 運営委員会

### 会セミナー 第12期報告

講 演	講 師	参加者
とその後	留 井 英 明氏 (S34卒)	115
の進むグリーンランド&安住の地を られたイヌイットたち	上 川 庄二郎氏 (S29卒) フリーライター タウン誌「月刊 神戸っ子」に海・船・港を連載	93
シルクで美しく健康な肌をつくる 不思議と可能性・蚕はえらい!~	橋 本 明 子氏 (S62卒) 京都シルク株式会社 企画営業チーフ	60
花 の目を通してー	升 谷 博氏 (S27卒) 金蘭会会長	85
コロリの生き方	若 林 利 光氏 (S46卒) 若林医院院長。医学博士 日本ベンクラブ会員	95
アン]の今日的意味	小 畑 精 和氏 (S46卒) 明治大学政治経済学部教授	84
のある暮らし~ 身近に、ココロ喜ぶティータイム!]	原 田 雅 子氏 (S62卒) (有)ユーロユーロ(紅茶輸入業) 代表取締役、ティーコーディネーター	87
療界にもプロジェクトXがあった] 医療と看護の出会いー	吉 田 春 陽氏 (S42卒) 吉田歯科医院 院長	72
迷い方”と”バリアフリー” 国内地下鉄全駅のバリアフリー情報 ディア)を公開	岡 田 光 生氏 (S46卒) NPO法人 まちの案内推進ネット理事長	72
人が緑内障 は大丈夫?	岡 本 直 之氏 (S50卒) 元北野病院眼科副部長・おかもと 眼科クリニック院長	未

### 金蘭会ホール使用要領

1. 使用対象者  
金蘭会会員  
金蘭会会長又は大手前高等学校長が認めた者
2. 使用可能日時  
火、木、土曜日  
午前11時~午後4時  
午後5時~午後8時
3. 申込について  
①事務局に申込む。  
TEL 06-6942-3947 FAX 06-6942-4124  
使用希望日が重複した場合は先着順。  
②事務局から申込者に申込用紙を送る。  
③申込者は用紙に所定事項を記入して事務局に送る。  
④事務局より申込者へ許可証を送る。  
⑤許可証を当日持参のこと。  
⑥許可、軽食等の出前希望のときは、申込書にその旨を記入のこと。
4. 使用料金

	午前11時~ 午後4時	午後5時~ 午後8時
会議室 (30名~50名)	3,000円	5,000円
談話室 (20名~30名)	3,000円	5,000円
5. その他  
使用目的が同窓会活動に著しく逸脱する場合は許可しません。  
使用においては学校敷地内であることを配慮のこと。



### 第11期皆勤賞

S20本5卒	升 谷 博 S 27 卒
S20本4卒	岸 田 政 子 S 28 卒
S20本4卒	宮 崎 悦 郎 S 28 卒
S21高特卒	赤 松 峰 子 S 29 卒
S22本卒	岩 嶋 邦 子 S 29 卒
S 25 卒	浜 田 昱 子 S 29 卒
S 25 卒	浅 岡 道 雄 S 30 卒
S 25 卒	杉 山 和 雄 S 33 卒
S 26 卒	留 井 恵 子 S 39 卒*
S 26 卒	大 鍛 治 和 美 S 46 卒
S 27 卒	前 淵 俊 朗 S 50 卒

\*印 11年間皆勤

### 第13期 金蘭会セミナーの お誘い

- とき 毎月第3金曜日  
PM 6:00~7:00 卓話  
PM 7:00~8:00 交流会
  - ところ 金蘭会ホール  
〈通信費〉年間1,000円  
(年10回 往復はがき代)  
〈参加費〉当日徴収 1回1,000円  
(軽食費込み)
  - 申込方法……金蘭会セミナーの通信費1,000円を、「大手前だより」に同封の振込用紙にてお振り込み下さい。振り込んでいただいた方に毎月往復はがきにてご案内いたします。出欠はその都度お返事ください。参加費1,000円は当日いただきます。(同伴・ピジターは1,500円)
- 予告 9月 テーマ:  
**「薬をつくる」**  
講師 大川友之氏 (S62卒)

### 金蘭会ホール運営委員

紀 大 吉 安 浜 米 西 苗 田 徳 留
本 治 田 橋 田 岡 代 丸 光 井
S S S S S S S S S S
0 47 46 42 34 29 21 20 20 14 39



# 金蘭会組織

会長	升谷 博
副会長	米田 玲子
	上川 庄二郎
会計	田原 由夫
	平松 美樹
書記	大鍛治 和美
	福味 真樹紅
総務	留井 恵子
	安積 香代子
	紀本 岳志
	田中 文
監事	渥美 寿雄
	勝部 慶次
	藤岡 美紗子

## 【委員会(理事)】

	委員長	委員
組	田中 宏幸	高女 尾上喜美子・苗代 壽子 西岡 好子
		高校 丹羽 權平・藤原 啓助 浜田 暎子・高橋 仁志 辻本 賢
広報	大鍛治和美	木村 定・今堀美那子 田中 文・渥美 寿雄 野口 幸一・横幕 久治
IT	藤原 啓助	留井 恵子・安積香代子 大鍛治和美・小南 典子 渥美 寿雄・野口 幸一
会員名簿	石川 温子	尾上喜美子・鴨下 勝子 田原 由夫・大鍛治和美 田中 宏幸・野口 幸一 横幕 久治
金蘭会文庫	渥美 寿雄	木村 定・藤原 啓助 石川 温子・小南 典子 野口 幸一
運営	留井 恵子	徳光 清子・田丸真貴子 苗代 壽子・西岡 好子 米田 玲子・浜田 暎子 安橋興二郎・吉田 春陽 大鍛治和美・紀本 岳志 田中 文・小南 典子 野口 幸一・横幕 久治
行事	安積香代子	丹羽 權平・田原 由夫 明賀 英樹・三木 啓二 平松 美樹・田中 文
園遊会	多田嘉孝	福味真樹江
母校支援	上川庄二郎	大鍛治和美・野口 幸一 橋本 昌子・佃 雅之

# 金蘭会ホー

## 金蘭

名門大講義！  
パソコン学んでくらしにうるおいを！

ワード エクセル  
ホームページ  
デジカメと 撮影会  
インターネット メール

### 金蘭会パソコンスクール

開催日：月・金曜日 1～5時pm  
場 所：金蘭会館  
費 用：1時限(2時間)当り500円

- ビギナーの方も気楽に学べます
- サロンのようなごやかなムードのスクールです
- 同窓生のお助けパーソンがお手伝いします
- 年に2, 3回パーティを開いています  
(昼食をはさんで年賀状や名刺を交換します)
- 大阪城公園でデジカメの撮影会を催しています

お問い合わせとお申し込みは

町 田：TEL 072-857-0319/FAX 072-857-0319  
留 井：TEL 06-6383-0315/FAX 06-6383-8020  
金蘭会HP：http://kinran.jp/school/index/html

第何	月 日	
111回	平成19年 9月21日	四国
112回	10月19日	環境 踏み
113回	11月16日	絹美 ～絹
114回	平成20年 1月18日	四季 ～レ
115回	2月15日	ピン
116回	3月21日	【赤
117回	4月18日	～お 【も
118回	5月16日	【齒 一齒
119回	6月20日	駅で NPC 【え
120回	7月18日	6人 あな

## 同好会

ご参加お待ちしております

	身近な法律Q&Aゼミ	源氏物語 講読会	金蘭会フォークダンスサークル
内 容	身近な法律問題について講師の先生に具体的な事例を出していただき、皆で考えます。最後は弁護士さんにまとめの解説をしていただきます。年1回刑事事件の法廷傍聴もあります。	宇治十帖の3人の女性、大君、中君、浮船の物語を読みすすめてきました。今年度は、浮船の物語を深めます。毎回、発見を経験しつつ、構想の骨格を確かめ合い、一部二部にも否応なく通り、くりかえし語り合っております。	和やかなレッスンを続けて6年6カ月になります。参加者のステップも一段と軽やかになって来ました。初心者の方も、すぐ輪の中に入れます。健康のためにも是非一度見学にお出で下さい。お待ちしております。(上履き持参の事)なお男性会員が少ないので是非奮ってご参加下さい。
講 師	弁護士 田中宏幸氏(S49卒)	松野由子氏(S23卒)	インストラクター 太田 哲子氏(S27卒)
日 時	7月18日(金)、10月17日(金) 午後3時～5時 (法廷傍聴)9月19日(金) 午後0時45分～3時 (忘年会)12月	月1回 第3火曜日 午後2時～4時	毎月 第2・4火曜日 午後1時30分～3時30分
費 用	年会費 5,000円 (実費、茶菓子代込み年6回)	参加費 2,000円	入会金 1,000円 レッスン料(1回) 700円
お 問 合 せ	大塚 徳子氏(S26卒) 072-229-1557	山本 昌子氏(S23卒) 0797-86-9338 山本 晃江氏(S23卒) 0726-82-2620	杉村 富美恵氏(S27卒) 0729-56-2831 西野 香代子氏(S27卒) 06-6628-1722

奥苗田島大相賀松大米尾  
田丸崎西宗本岡塚田崎  
美壽眞貴俊文枝  
貴真千照和弘徳和千

横野小  
幕口南  
S S S  
56 54 52  
～ ～ ～

## 平成十九年度英国国際交流

七月二日(月)から七月十六日(月) 第三回英国短期留学が平成一九年にかけて実施されました。昨年度は金蘭会からの多大なる支援を受け、それまでの生徒数六名から八名に増やして頂き、一年生四名・二年生四名(男女各四名ずつ)がベングライズ校を訪問しました。

現地時間午後十時にベングライズ校に到着し、これから始まる英国での生活に不安げな表情の生徒達も、ホストファミリーの笑顔に迎えられ、十日間滞在予定の各家庭へ元気に向かいました。週末のホストファミリーとの二日間の休日を挟んで、前半

四日間はアペリストゥス近郊の史跡巡り、後半四日間はベングライズ校での授業参加、そして残る二日間はオックスフォード見学という日程でした。近郊の史跡巡りでは、今まで馴染みのないケルトの文化・歴史に触れると共に、生徒たちはウェールズ語と日本語を教え合っていました。週末には乗馬、カヤック、ボート等大自然の中で、ホストファミリーと共に野外活動を楽しんでいました。ベングライズ校では、四回に及ぶ日本文化(剣道、日本舞踊、歌)紹介を計八〇〇名ほどの生徒の前で披露し、好評を得ました。地理の時間には日

本の産業・地理について英語で説明し、質問にも応じていました。その他、音楽、体育、美術、生物の授業をベングライズ校の生徒と受けました。

この短期留学を通して、生徒たちは多くの事を学び、帰国後は様々な場面で英国体験報告会を行ったり、他の国際交流行事でも中心となって関わったりしています。

今年度は七月八日(火)から十七日(木)まで、ベングライズ校から生徒五名と引率教員二名が本校を訪問し、大手前生との交流を深めます。十五日(火)には、金蘭会主催による送別会を金蘭会ホールで開催する予定です。



会員の皆様方には、いつもご協力いただき有難うございます。名簿委員会は会員の最新かつ正確なデータの収集・管理に最新の注意をもって当っておりますが、働き盛りの昭和50~60年代卒業の方々は異動が大変多く毎年数百通の“大手前だより”が返送されてきます。一年にただ一度の金蘭会と会員とを結ぶ情報誌を出来るだけ多くの会員にお届けしたいと願っておりますので、学年会・クラス会・OB会・支部会等を開催されましたら、その際判明した最新のデータを、金蘭会事務局名簿委員会まで、どのような形で結構ですでお知らせくださいますようお願い致します。また、個人的な変更も速やかにご一報くださいますよう、併せてお願い致します。なお、金蘭会のHPからでも変更等が可能ですのでご利用ください。

平成18年発行の会員名簿は、お蔭様で大変ご好評をいただき多くの方々にご購入いただいております。残部がまだありますので、ご希望の方は振込用紙にてお申し込みください。送料共で5500円です。なお、名簿は5年に一度の発行で、毎年新しく出るものではありませんので、お申し込みの際にはすでにご所持のものと重複していないかどうかのご確認をよろしくお願い致します。

(名簿委員会委員長 S33卒 石川 温子)

## 第11回 国際グリム賞



白菊の薫り高い二〇〇七年十二月十八日、第十一回国際グリム賞の授賞式が、受賞者のジョン・スティーヴンス博士を迎えて、大阪府立国際児童文学館にて開催されました。

当日は日本・イギリス児童文学会の方々と関西日豪協会の方々、オーストラリア領事も出席いただき、その中で金蘭会の升谷博会長から国際グリム賞賞状に副賞の賞金が手渡されました。

今回受賞されましたジョン・スティーヴンス博士(豪・マコーリー大学教授)は、児童文学研究の理論派として活躍され、国内外で幅広い活動をされています。常に世界各国の研究者とともに共同研究を行い、自国のみならず、アジア、ヨーロッパの研究者の育成にも尽力されています。また、国際児童文学学会会長(一九九七~一九九九年)、オーストラリア児童文学研究会会長(二〇〇六~)などさまざまな学会で要職に就

## ジョン・スティーヴンス博士(豪)が受賞

かれ、児童文学研究において多大な貢献をなされています。

贈呈式終了後、受賞記念講演会が開催されました。「グローバルに児童文学を語ろう―世界的視野と地域性―」と題した講演は、具体的な事例が盛り込まれてわかりやすく、また、日本やアジアの児童文学研究者と活発な質疑応答が取り交わされて終了しました。

さて、皆さんご存知のこととは思いますが、橋下知事のもとで大阪府財政改善の環として、大阪府立の各種博物館の統合・廃止・売却などが検討されており、当国際児童文学館もこの対象とされており、「大手前だより」が発行される頃には、その具体案が示されるものと思われ、その結果いかんにより国際グリム賞の存続も危惧されます。どうか皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

【国際グリム賞は、一九八七年大手前高校創立百周年記念の寄付金を基金として創設されたもので、児童文学研究で世界的な功績のあった研究者に贈られる賞】

(国際グリム賞担当理事 S30卒 多田 嘉孝)

# 各委員会より

## Ⅰ委員会

Ⅰ委員会は、一般事業として、金蘭会のホームページ「Web金蘭会」の運営と、特別事業として、パソコンスクールの運営を担当しています。

## ホームページ部

この二年間のトップページへのアクセス総数は、二万七千件余りで、日平均七十件以上のアクセスがあります。昨年と比較して、やや増加しています。「今月のPhoto」の更新が行われていない月のアクセス件数が少なくなっています。トップページの大幅な変更を見送り、小幅な変更で対処しましたが、十分見栄えのする画面にはなっていないものと思っています。タウンページの登録受付を今年度からはメールでのみ受け付けることにしました。また、金蘭会館の使用状況や行事予定などを書き込めるカレンダーを作成することにしています。

## パソコンスクール部

スクール開催日数はイベントを含んで六十五日、百三十時間限で、時間当りの平均受講者は九人となっています。また、新しく七人の方が受講されました。平成二十年度も月々金曜のうち開催可能な日に開講する予定です。Ⅰ委員会は、ボランティアで集まった会員で運営しています。委員会活動に協力していただける方がおられましたら、是非ご連絡下さい。お待ちしております。

Ⅰ委員会委員長 S 28卒 藤原 啓助

## Ⅱ行事委員会

### 新入会員歓迎会



平成十九年卒の新入会員を歓迎するため、九月九日(日)金蘭会ホールに於いて、パーティーが開催され、新入会員三百十三名中、百二十八名が出席されました。たくさんのお料理と美味しいケーキや果物、出席者全員への参加賞、先輩会員ご提供の豊富な賞品によるゲーム等で、新入会員の皆さんに、存分に楽しんで頂きました。卒業後初めての学年会でお友達との会話も弾んでいたようです。

今後の同窓会活動への理解と参加につながってほしいと思います。

なお、当日のスナップ写真が金蘭会館のパソコンに入っていますので見に来てください。プリントできます。

(月火木金の午後二時から四時までに電話で確認してから来館ください。)  
行事委員会委員長 S 40卒 安積 香代子

### 平成二十年卒の皆様への予告

今年度の新入会員歓迎会も母校文化祭の日程に併せて開催します。

日時 平成二十年九月七日(日)

十二時三十分より

場所 金蘭会館二階 金蘭会ホール

会費 無料

内容 立食パーティー ゲーム

メールでの申し込み締め切り

九月一日(月)

あて先 金蘭会事務局  
電子メールアドレス: kiranai@leao.com.jp  
詳細は、往復はがきにてご案内します。  
◎奮ってご参加ください。

# 学年会だより

## 第六十九回 白鳥会

(昭和十四年卒)

平成二十年五月十三日(火)

午後から雨になるとの予報に、どうかしらと案じ乍ら同窓会会場まで当番三人で出かけました。例年、大女将の徳光さんのご好意に甘えて、北浜の花外楼でさせて頂いています。何時も窓外に色鮮やかなバラ園が見えるのに、今年は工事中とかで白い覆いが点在するだけ。少し淋しい川べりです。でもそれは外のこと。十二時を過ぎる頃には、賑やかになつて、皆様二年ぶりで揃う三十名の顔ぶれに再会の喜びの声ばかり。例年どおり記念写真を撮り、次いで広間で宴会が始まりました。先ず当番の挨拶から始まり乾杯のあと三分間スピーチで、それぞれの近況報告に笑いが起こつたり、物故者のお知らせに胸を衝かれたり、二年間の出来事には皆様さまざまの思いが駆け巡つたことと思います。次々と選ばれるお料理の美事さや言うまでもなく、徳光さん始めお店の方々のお心尽くしに心温まる宴です。少し遅れて横浜から遠路はるばる参加された人や、付き添いさんと一緒に車椅子で来られた方など、皆様いろいろとお出まし難いのにようこそと感謝いっぱい。とにかく、この年(数えて八十八才)まで延々と続いたので、毎年ずつと出席のメンバーの中に、久しぶりで出席された方も交じつておしゃべりの尽きないこと。世の中どんな物騒な事が起こつても皆さんの元気で乗り切つて行けるのではないかと感じられました。帰り際には、徳光さんお心づくしの米寿お祝紅白のお饅頭を頂戴し、又来年も会いましょうねの言葉を交わしてそれ

ぞれ家路に着きました。

池内 愛子

(平成十九年白鳥会以降物故者)

藤村 愛子様 十九年九月十四日

山村(神前) 愛様 二十年一月十三日

山下(田辺) 静様 二十年二月 八日

八木 朝子様 二十年三月十七日

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## あおぎり会

(昭和十九年卒)

夕べの雨に洗われて、輝く陽ざしの風薫る五月二十一日、今年もおおぎり会はホテルグランヴィア大阪に、東京など遠くからの友も加えて四十七名が集まりました。卒業後六十四年、傘寿からもう三年も過ぎたんだものねと年を託しながら、皆さん若々しく元気！写真撮影は足の不自由な方も多く、時間のかかるのを幹事は心配しましたが、流石昔とつた規律行動、スムーズに二杯の笑顔が並びました。

先ず、今年度他界された友を偲び黙祷を捧げた後、美味い日本料理に舌鼓を打ちながら、やはり話題は「授業が始まる前、もんべ姿の素足で廊下の雑巾がけしたね。」「鍛練で水無瀬神宮や榎原神宮前で20、30km、隊列を組んで行軍したよね。」など、戦時下の女生時代の想い出話に花が咲きました。

「四つ葉のクローバー」、「真白き富士の嶺」を歌い、シャンソンに耳を傾け、最後は全員で校歌を合唱しました。お別れの前に、今後のあおぎり会についてのQ&Aをしましたが、「まだまだ続けて」の意見に多くの挙手がありました。

創業元正十二年、京の味「田丸糰」の胡麻せんべいのお土産を手にて刻三時、来年の再会を祈り、別れを惜しみつつ家路に着きました。

昆(高山) 美也

## 傘寿の集い

〔昭和二十年(五卒)〕

昨年八十才を迎えた私達は昭和二十年三月に卒業でしたが、生憎、大阪空襲の後でもあり、動員先の枚方造兵廠の食堂の二階で、作業服のまま工場長の話を聞き、「海ゆかば」を歌っただけで、それさえ出席できぬ人が多かったのです。それが此の度六十二年目の卒業式の御案内を頂き感激いたしました。校長先生、教頭先生始め在校生、金蘭会の方々の御世話になり、心から感謝して居ります。

又、六月には紫陽花の鎌倉・横浜方面に旅行し、秋には地元で食事会を開き、遠来の友は紅葉の有馬へと、大いに旧交を暖め合う事が出来ました。私達は戦時下の事とて母校で充分勉強することもままならず、あの



過酷な戦中戦後を生き抜いて来ました。既に三分の一の友を失いました。八十才を迎えて此の様な集まりを持てた事は望外の幸せでした。母校と当会の発展を祈りつつ御礼申し上げます。

評議員一同

## 紫蘭会

〔昭和二十年(四卒)〕

風薫る五月二十一日、紫蘭会の集いを待ちました。JR京都駅八条口から、ホ



テルのお迎えのバスに乗り込み、京都市街を通りぬけて北白川から山中越えの道を通り比叡山中腹の「ロテル・ド・比叡」に着きました。

途中鮮やかな新緑と美しいピンクの薔躑が目を惹かせてくれました。眼下に大津の町や琵琶湖が見渡せ、前日迄のあやしかった空とは打って変わった爽やかな同窓会日和となり、互いに好運を喜び合いました。バスの中では、はやくも話が弾み、ひとあし早く宴が開かれたような感じでした。

宴会の間に、昨年十月に「六十二年目の卒業式」を挙げていただいた時のDVDが放映され、十六才の時には深く受けとめられなかったであろう校長先生のお話を八十才となった今、身に沁みて拝聴し有難く思いました。又、戦争中の体験談を代表の方々が発表され在校生にも聞いて頂きました。苦しかった往時の思い出や、現在の豊かさについての話が尽きず、平和の有り難さをしみじみと再認識しました。

昨秋卒業式を挙げていただき私達は今日、あたかも新卒業生のように嬉々として集まり、同期の絆が一層強まったように思いました。大手前時代に培った精神をいつまでも忘れずに頑張っていくと思えます。

おいしいお料理に満足し、まだまだお話しも尽きぬうちにお開きの時間が来てしまいました。が、希望者はホテルのバス

でガーデンミュージアムを見学し、百花咲き乱れる花園でしばし浮き世を忘れ自然を満喫しました。

見学を終え、ホテルのバスでJR京都駅八条口まで送っていただき、お互いに健康を祈り再会を期して名残惜しいお別れとなりました。

遠方の方や希望者はホテルに残って一泊されたの日は同窓会を楽しみました。多くの人々のおかげで楽しく傘寿を迎え祝うことが出来て感謝で一杯の一日でした。

最後になりましたが、母校の益々のご隆盛をお祈り致します。

平成二十年度紫蘭会当番

## 五期生学年会報告

〔昭和二十八年(卒)〕

今年(平成二〇年五月二四日)も学年会は「徐園」で開かれた。出席者は五十七名。会も例年通り熊谷君の司会で始められ、先生方の挨拶、物故者への黙祷、会食しながらの歓談。歳を取ると食事の量も減り、アルコールも余り売れないようだ。

今年も昨年同様、杉野先生が出席された。常連の永田先生、岸田先生も元気な姿を見せていただいた。ご挨拶の中で岸田先生のご自宅が歴史的な町家として登録され、見学しながら講演会が催される話があり、興味のある人は参加してくださいとのことだった。

先生方の元気な姿もさることながら、昭和二十五年の入学は一九五〇年だから、五十数年が経ち、生きながらえている者が未だ三分の二以上もいるのだから大したものだ。

昨年は平成十九年五月二五日に所も同じ「徐園」で催した。出席者は五十名。

幹事も段々考えるのが邪魔臭くなるのか、別に問題がないから、そうしようと思簡単に決めた。多分、来年もそうなるのではないかと。

女性は七十を過ぎていくのにみんな「きれいな」ものには驚く。みんな若く見える。杉野先生も昨年同様にお会いしたが、口調といい、ものごといい、昔とお変わらない。

男性陣だって、定年退職して、老後の生活に入っているはずなのに、元気なのだ。戦後の物不足の時代に育っているので、バイタリテイが感じられる。

「人生八十年の時代だなあ」と同窓会に出るといつも思う。それを感じたいために出席しているのだろうか。

小川 敏之

## クラス同窓会二年二組会

〔昭和二十八年(卒)〕

一昨年に引き続き昨年十一月九日に二回目のクラス会を開催しました。

午前十時に大阪歴史博物館前に集合し、そのまま入館しました。折から特別展として、NHKドラマ風林火山・山本勘助に関する展示が行われていましたが、それよりもわたしたちには、難波宮から現代に至るまでの大阪の歴史をリアルに再現した常設展の展示がなつかしく、特に昭和初期の大坂船場の有様をほうほうさせる展示には、クラスの中にその付近で生まれ育った人も居ることから、とても興味を惹かれました。

博物館を出て、大阪城の外堀に沿って、展示物がかもし出した余韻を楽しみながら、大手前高校まで歩きました。新しくきれいに建て直された母校に来るのはこれが初めてという人もいて、校庭に入ると広くなった運動場にたたずんで、プールは以前と同じ場所にあるのだなあと思ふ人もいました。実際、この

時のそれぞれの心の中には、七十歳を超えた自分ではなく、まだ十七歳であった頃の自分がよみがえっていたようで、しばしシーンとした沈黙の時が流れていました。

その後、次の会場の太閤園へと向かい、遠来の友と合流し、淀川邸のおいしい会席料理をいただいたながらにぎやかな歓談に時を過しました。総勢十名の出席でしたが、みなニコニコと満悦で、大いに盛り上がりました。紅葉しかけた木々の下、水の流れと石の美しい庭園を散策し、名残を惜しみながら、来年の会にはまた皆揃って元気で会おうねと約束して別れました。

やはり同級生はいいもので、大いに笑ってハッピーな日を満喫しました。

松本 祥子

## 六期会学年会のお知らせ

(昭和二十九年卒)

昨年は、秋晴れの下、神戸で開催し、ベイクルーズ船「CONCERTO」で明石海峡付近までのツアークルーズを満喫しました。

引き続き、夜は突堤上に建てられた神戸メリケンパークオリエンタルホテルで懇親会を持ちました。あたくもクルーズ船に乗っているかのような雰囲気味わいながら、和気藹々のうちに夜遅くまで続きました。

翌日は有志でポートアイランドにある「花鳥園」に出かけるなど、それぞれに行楽日和を楽しみ、有意義な二日を過ごしました。

懇親会の席上、来年は京都でやろう、との声もあがりました。現在のごとくまだ詳細は決まっておりますませんが、その線で考えてみようと思っております。

大まかな日程としては、十二月末か、十二月初め頃を考えておりますので、お心積りをお願いします。決まりましたら、できるだけ早く皆さんに連絡することとしております。

幹事一同

## ビッグなミミ同窓会のお知らせ

(昭和三十年卒)

皆さん お元気ですか！ 昨年の学年会は五月二十四日、ザ・リッツ・カールトン大阪にて、岸田善三郎・杉野としゑ両先生をお迎えし、総勢六十七名が参加して開催されました。初めての平日開催でしたが大勢の方の参加があり、終始和やかに進行し盛會に終えることが出来ました。また、同窓会開催に当たり多くの方から協賛金をお寄せいただき、この場を借りてお礼申し上げます。

さて、今年もミミ同窓会の年でありませんが、一度泊りがけという声もあり、日帰りも可能な近くの温泉での開催を計画しています。

○日時 平成二十年十月六日(月)～七日(火)  
一泊二日(日帰りも可)

○場所 有馬温泉 「有馬グランドホテル」(予定)

詳細につきましては後日ご案内をいたしますが、ぜひ予定に入れておいて下さい。多数の皆さんの参加をお待ちしております。

多田 嘉孝

## アイアイ会同窓会

(昭和三十四年卒)

若葉まぶしい五月十八日(日)に十二期学年会が奈良の春日ホテルで開催されました。遠来組も含め、七十八名出席の盛況でした。今年からは四組と六組が幹事となり、数ヶ所候補の中から奈良での開催に決まりました。奈良在住の幹事が活躍したのはいうまでもありません。

当日二時から事前募ったグループに分け、東大寺方面、ならまち元興寺方面への散策を観光ボランティアガイドの案内で楽しみました。馴染みの奈良もまた興です。五時から直行組も含めて懇親会が始まり、まず物故者



のご冥福を祈り黙祷を捧げました。その後は和気藹々「地味な会に」との幹事の苦労話や裏話の披露の後、8テーブルに分かれた席から各々話題を提供したり、各サークル、同好会の紹介等で二気に四十数年前に戻り、盛り上がりました。笑い駆け歌い、元氣を取り込み「集うや良し」の一夜は瞬く間に過ぎました。来年は卒業後五十年を迎えますので元氣に再会できることを約して散会しました。

四組 奥居

## 山梨ヌーボーを飲みながらこれからの人生を語ろう

(昭和四十年卒)

皆様お元気で、活躍のこと存じます。昨年は還暦記念同窓会が行われ約百十名以上の参加があつて大変盛況でした。

さて、この三年ほど九月に山梨で行われるワイン祭りに参加してきましたが、今年は一月に大阪で同窓生向けに「山梨の新酒(ヌーボー)を楽しむ会」が開催される事になりました。

十一月二十日のポジョレヌーボー解禁に先駆けて、山梨産の新酒ワイン(白はデラウエアと甲州、赤はマスカット・ベリーA)がたっぷり味わえます。

今回の眼目は、ワイングラスを片手に、我々の「定年」後の生き方を大いに語ろう、ということです。二応、露払い役として、五組赤松君と六組赤池君から短い講演をしてもらい、そのあと出来るだけ多くの方から、今生きがいに行っていること、今後の人生設計などに

ついて語っていただこうと思います。みなさん、ワインを飲みながら旧友との再会と会話を楽しみ、今後の生き方の参考にしようではありませんか。

日時 平成二十年十二月二日(土)十七時より  
場所 金蘭会館 二階 金蘭会ホール  
会費 三千五百円(ワイン、記念グラス付、軽食共)

三講演  
五組赤松君 「ライフワークとしてのグレイス栽培クラブ」

六組赤池君 「再生医療(自分の細胞でがん以外の病気―糖尿病、心臓病―などが治せる、と言われる画期的な医療)から生命の尊さを考える」

その後皆様方から定年後の人生設計についてお話を伺います。

夫婦でのご参加、他学年の方々のご参加も歓迎です。

会場の都合及びワイン、軽食の手配上、出席される方は9月末までに同封の「大手前40」の振込用紙(青色)にてお振込みください。

多くの皆さんの再会を楽しみにしております。

一組 高橋(飯野) 三組 安積(阪上)  
四組 市川 五組 今西

## 還暦記念同窓会

(昭和四十一年卒)

大阪に先駆けて、東京では昨年十一月二日に群馬県の親山温泉にて還暦同窓会を実施。参加者二十名で、深夜二時迄飲んで騒いで楽しかったそうです。

さて次は大阪。絶好のお花見日和の四月五日、大手前四一会の還暦記念同窓会が母校大手前高校内金蘭会館にて開催されました。今回は会場が母校ということもあって、出席者は総勢百十名と今までにない盛況ぶり。恩師の石川甲先生と杉野としゑ先生もご出

席下さり、遠くはイギリスから、国内では首都圏、九州など遠方からの参加者二十三名、初参加の人もいて会場はほぼ満杯状態。ゆっくり語り合ってもらおうと五時間というロングラン企画。四時で二時締めで中庭に出てクラス別に記念撮影。会場に戻ると新しい料理がセッティングされていて二次会の始まり。三月まで母校で教鞭をとってこられた光岡さんのお話、崎元さんの独唱、最後は橋本君の指揮で校歌・応援歌等を合唱して終了。お土産に校章入り紅白饅頭をいただきました。

さらに、三次会はキャッスルホテルのラウンジを貸切、五十三名が参加してこちらも大いに盛り上がりました。帰りは、夜桜見物のおまけもついで本当に楽しい一日でした。  
次回は三年後、卒業四十五年会です。皆様それまでご機嫌よう……。

### 学年同窓会報告

学年幹事  
**(昭和四十六年卒)**

昨年十一月十日、学年同窓会をヒルトン大阪にて開催しました。阪本千秋、庭野孝夫両先生をお迎えし、百三十二名の参加で盛り上がりしました。久しぶりに会っても、大手前卒業生同士、すぐに昔に戻って話せ、本当にいいなあと心から思えます。

二次会はなんと二〇五名もの参加、ほとんど帰らず、二名の先生も参加してください、予想を大幅に超えての満員状態で、皆汗だくでした。二次会の写真も文明の利器の利用ですぐ皆の手元に届き、シャンソンやピアノやバイオリンと、達者な仲間の演奏に酔いしれたことでした。今度は還暦祝いの時ですが、今から楽しみにしていただきたいと思います。

### 昭和四十九年卒同窓会大盛況!!

**(昭和四十九年卒)**

大鍛治 和美  
平成二十年五月四日(日)に、四年ぶりの学

年同窓会が開催されました。会場は、料理の鉄人でおなじみの坂井シエラ経営にかかるラ・ロシエル大阪(本町)。恩師三名を含めてちょうど百名の参加がありました。驚いたことに、今回初めて出席していただいた古典の阪本千秋先生は当時と全く変わっておられず、まるでタイムスリップしたかのようでした。

会場は熱気にあふれ、テーブルを越えて話し渡る人が出て、落ち着いてコース料理を味わった人はどれほどいたでしょうか。それでも、ビンゴゲームになると、豪華な賞品がかかっているだけに、そこは大手前、しっかりゲットしようとしていると、あつという間に、三時間が経ってしまい、近くに用意されていた二次会会場へ八十名がなだれ込みました。そこでも、予定の二時間が二瞬にして過ぎ、さらに、三次会へ。ということ、名残り惜しい一日となりました。

次回は、宿泊付きでしやべり明かすという企画はいかがでしょうか。お楽しみに。  
なお、この「大手前だより」が届く頃には、紹介制で加入できる学年ホームページのZINEが立ち上がっているはずです。紹介メールが届きましたらご参加下さい。

代表幹事 田中 宏幸  
TEL 06-6630-3005  
FAX 06-6630-3015

### 卒業二十周年会

**(昭和五十三年卒)**

卒業三十年を記念しての学年会を五月三日に開催しました。祝賀会に先立って三時より大手前高校の見学会を行い、休日にも関わらず教頭先生にご案内頂き、参加者四十三名は大いに感激致しました。その後、場所を大阪上本町のシエラトン都ホテル大阪に移して祝賀会。こちらは、河崎先生、森先生、渡辺先生、岡田先生、杉野先生、荒井先生の六名の先生方をお迎えし、総勢百三十名の集まりとなりました。会のはじめに三つのグループに分かれて記念撮影(この写真は二・三組で



す)。各先生方からご挨拶を頂いたあと乾杯、プロとして活躍の中村(大橋)扶実さんの歌では、アンコールの拍手が鳴りやまず、大変な盛況でした。さらにビンゴゲームで盛り上がった後、校歌を斉唱して閉会となりました。引き続き同ホテルでの二次会、三次会、向かいのハイハイタウンに場所を移しての四次会まで、大勢の人が残って懐かしい話題や現況など、話は尽きませんでした。これまでのペースですと次は三十五年会になります。早くやろうとの声も多くあり、五年を待たずに聞くことになるかも知れません。

源美 寿雄

### 卒業二十周年同窓会の案内

**(昭和五十四年卒)**

前回の卒業二十周年同窓会を開催してから8年が過ぎました。少し気が早いのですが、今回の学年同窓会の案内をさせていただきます。忘れないよう、どこかにメモをしておいて下さい。

日時 平成二十二年三月二十二日(日)  
十五時~十八時

場所 ホテル京阪ニバーサルタワー四階「ファンタジーホール」  
幹事 同

### 学年同窓会告知

**(昭和五十七年卒)**

日時 平成二十年十二月二日(日)  
午後二時~四時半

● 場所 ホテルグランヴィア大阪 (JR大阪駅真上)  
卒業生全クラス合同で行います。  
● 問い合わせ先  
学年代表評議員 土肥 優子  
090-3032-8073

### 卒業二十周年記念同窓会を開催しました

**(昭和六十二年卒)**

去る十一月二十四日、昭和六十二年卒業生による初めての同窓会が、卒業二十周年を記念して開催されました。当日は、一・二部構成。まず第一部では、母校の金蘭会館で、在校当時の編集映像を流しつつ、英国風



アフタヌーンテイパーティーを行いました(九十名参加)。続いて、本会である第二部を、OMMビル東天紅にて、恩師ご参加のもと、百七十名の出席を得て行いました。卒業以来、初めて再会する友人も多く、首にかけた名札と記憶をたぐりながら、会場のあちらこちらで、歓声を上げながら、高校時代にタイムスリップしていました。途中、同期生によるオーボエとピアノのミニコンサートもあり、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。最後、皆で、記念の特製携帯ストラップを手に、再会を誓い合いました。今回、残念ながらご出席いただけなかった方も次回は是非出席していただき旧交を温めていただければと思います。

幹事会同  
<http://otemae1987.blogspot.com/>

# 支部この一年

## 阪急支部

平成十九年度の行事

第五十九回阪急支部総会 九月一日

総会後の講演 能面打の見市泰明氏による「能と能面の魅力」について

自作の能面約三十面をスクリーンに映しつつ、わかりやすい語り方で楽しく、二時間の講演が短すぎる思いでした。

●お楽しみバス旅行 十月十七日 三十七名

阪神間の小さな美術館巡りでしたのに、思いがけず多数の参加者で、昼食は空気が眺め百万ドル?の六甲山ホテルで、フランス料理に舌鼓を打ちました。

●芦屋市立美術館

講義室にて最初に学芸員の方の説明を聞き、その後解説を受けながら「菅橋彦の世界」を鑑賞しました。付属の建物には、小出橋重のアトリエと「谷崎潤一郎資料館」もありました。  
●ヨドコウ迎賓館(フランク・ライト設計)家具や建物の隅々迄設計者の個性溢れる建築でした。

●白鶴美術館

地震も乗り越え数十年前と全く変わらぬ建物と庭園に驚かされました。そして紀元前二五〇〇―三三〇〇年頃に超絶的な技巧で作られた青銅器等を鑑賞し、裏山の自然の滝の音や館全体の雰囲気癒される思いがしました。

S 29卒 森水 千恵子

## 近鉄支部

昨年の総会は十月十四日、奈良の春日奥

山に古くからある名亭「月日亭」で開催され、鈴鹿正剛氏(S 43卒、歯科医)に「より良く食べるはより良く生きる」のテーマで健康増進に役立つ講演を拝聴した後、料亭の懐石料理を賞味し、紅葉にはまだ少し早い時期でしたが、奥山の自然林の景観を楽しんでいただきました。参加者は、他の支部に比べるとまだまだ少ないですが増加してきており、広い年代層に拡がり喜んでおります。

●本年は、十一月十六日(日)近鉄奈良線の富雄駅近くの「百楽荘」に於いて総会と懇親会を開催する予定です。近鉄沿線の方のみならず、広く金蘭会会員の方々のご参加をお待ちしています。また、今回は、八十才でなお現役で活躍しておられるジャズシンガー藤田博氏にお話と数曲を歌っていただく予定をしています。是非ご参加の上、料理とともに、お楽しみ下さい。なお、当支部への入会や行事参加へのお問い合わせやご意見がありましたら、左記にご連絡下さい。

住所 〒631-0024

奈良市百楽園二丁目五番十二号

TEL 0742-4515973

支部長 S 30卒 高橋 仁志

## 阪神支部

●総会報告

今年の支部総会は四月十三日宝塚ホテルで開催致しました。今回の卓話は、くちぶえ伝道士もくまさあき氏による「楽しい口笛音楽と口笛体験教室」でした。

近頃、口笛を吹いた事がありましたでしょうか?何か楽しい事があると男の人は思わず口笛を吹く、というイメージがありますが、女性の場合、特に昔の女学生は口笛を吹くことは固く禁じられていたそうです。特に「夜に吹くと不吉なことが起こる」と暗に咎められたそうです。が、今回お呼びした口笛奏者もくまさあき氏はそんなとらわれた心を掃

てくださいました。口笛、それは素晴らしい芸術でした。思いが身体中を駆け巡り、それが唇を通して空中に押し出された時、素晴らしい音色となつて放たれるのです。

●今回、もくまさあき氏からはもう一つ大切なことを教わりました。思いがあるとそれは必ず実現するという事です。サラリーマン生活の傍ら「いつか口笛の素晴らしい音を伝える生活をしたい」という思いがあつたそうです。他者から見ると無謀な、とも思えることも、強い思いがあればかなうということ。今後はオーケストラと競演する音楽家として、口笛音楽を普及させ、文化として定着させるべく活躍されています。

●阪神支部の現状とお願い

阪神支部は女学校の頃の方が大半で、その先輩方に接する時、いろんな面で素晴らしい刺激を受け、改めて母校に誇りを持ちます。

一方、高校の方々にも参加して頂いて頂き伝統に触れながら楽しい支部に発展させて行きたいと願っています。当支部は会費は無料です。運営に参加して頂ける方はご連絡下さい。

連絡先 TEL0798-6816456

S 21・4卒 米田 玲子

TEL0798-4813009

S 37卒 佐々木 欽子

## 京都支部

京都支部では、年一回の総会(懇親会)を京都の名利・名園等を選んで、春または秋の土日に開催しています。今年も、支部創立五十周年という記念すべき節目を迎え、六月十五日(日)嵐山保津川畔の「ホテル嵐亭」で開催しました。また、今年「源氏物語千年紀」ということで講師に松野由子さん(S 23卒)をお迎えし、「生きつらい世の物語―雅でなかつた源氏物語―」と題して講演をしていただきました。

ました。さらに、「二期会のソプラノ歌手吉田早夜華さんに、そのすばらしい歌唱で、懇親会に彩りを添えていただきました。

●当支部は年会費を頂いておりませんので、どなたでも参加して頂けます。案内状は主として京都府及び滋賀県在住の金蘭会会員の皆様に送付しておりますが、案内状を必要とされる方は、遠慮なくお申し出下さい。

〒640-1836

八幡市男山美桜二二六

TEL/FAX075-981-1544

支部長 S 28卒 藤原 啓助

## 南海支部

本年度は、料理の鉄人でおなじみの坂井シエラ経営のラ・ロシェル大阪(本町)にて、懇親会が5月18日(日)に開催されました。

当日は母校斎藤校長先生をはじめ、金蘭会会長、関西の4支部長のご出席ご挨拶を賜りました。昼食後、副料理長による本日のメニューについてのコメントをしていただき、より一層充実した会食になりました。予定外のミニ講座「気になる私の相続問題」は皆さん我が身に置き換えて興味深く聞いておられました。恒例のテーブル対抗「面白クイズ」は、ことわざをテーマに出題され、全問正解の4チームによるブレイオフの結果、昨年に引き続き少数精鋭の高女チームが見事優勝され、豪華な優勝賞品を獲得されました。

●これに先立つ5月12日(月)には、恒例の法廷傍聴会が大坂地方裁判所で開催され、来年から実施される裁判員制度のこともあり、参加者の方々は真剣に刑事裁判を傍聴しておられました。テレビドラマとはまた異なった雰囲気がありますので、是非皆様もご参加下さい。

●南海支部は、金蘭会々員の方ならどなたでも加入していただけますので、ご希望の方は是非ともご一報下さい。

(南海支部事務局)

大阪市浪速区難波中3-5-4

難波末沢ビル3階 田中宏幸法律事務所内

TEL 06-6630-3005

FAX 06-6630-3015

支部長 S49卒 田中 宏幸

## 東京支部

東京支部は首都圏だけでなく名古屋以北在住の金蘭会員が登録しており、本年三月末現在で会員数は二七〇名を超えました。

毎夏開催される総会・懇親会には90歳の大先輩から学生の皆さんまで約二百名が出席され、同期はもとより、先輩後輩が和やかに語り合う様子に世代を越えて「大手前スピリット」が脈々と受け継がれていることを感じます。

昨年の総会は七月十五日(日)に文京区目白の椿山荘で行われました。折悪しく首都圏を直撃した台風四号のためやむなく直前に出席を見合わせられた方がいましたが、ご来賓に升谷金蘭会会長、斎藤大手前高校校長先生をお迎えして百七十六名が出席しました。

懇親会では当番学年の昭和五十一年卒幹事が会員の方々に提供いただいた女学校時代から現在までの資料をもとにショートフィルム「大手前今昔物語」を上映しました。映像の中の懐かしい校舎、恩師や友の顔に出席者はみなしばし青春時代にタイムスリップし、続く「大手前クイズ」に大いに盛り上がりました。

今年の第八十四回支部総会・懇親会は左記のとおり開催いたします。

日時 七月六日(日)午後四時

場所 東京都港区六本木ヒルズ

ホテル「グランドハイアット東京」

幹事 昭和五十二年卒

懇親会では幹事学年の「子息率」いるカルテ

ツトの優雅な調べをお楽しみいただきます。

東京支部は四十歳以上が80%を占めています。今後は進学、就職で関東に住む若い世代が気軽に参加し金蘭会の素晴らしさを実感してもらえようかな行事や活動に取り組みたいと考えています。東京支部ホームページを是非ご覧下さい。

URL [www.fairnet.ne.jp/~kinran/](http://www.fairnet.ne.jp/~kinran/)

東京支部総務担当 S48卒 楡垣 恭子

## 会員からのお便り

### ☆桐蹴会

(サッカー部OB会)

#### 第六回総会(OB戦・親睦会)のお知らせ

昨年十月十四日(日)、万博・大阪サッカーグラウンドにおいてOB戦を行いました【写真】。桐蹴会創設以来、「いつかは芝のグラウンドでサッカーを」を合言葉に計画してきましたが、ようやく実現できました。これも会員の皆さまの心温まるご支援のお陰と感謝いたしております。今回は晴天の下、昨年より二十名多い百一名が参加され、一日グラウンドを借りられたこともあって多くのゲームが組みました。途中、ファミリィも交えてミニゲームを四面使って実施し、サッカーを家族ぐるみで楽しみました。また、昼休みを利用してピッチサイドで総会を開き、現役のチームに作戦板とビブスを贈呈しました。親睦会は、場所をホテル阪急エキスポパークに移し、高校卒業二



年目の若い人もたくさん参加され、総勢五十名で大いに盛り上がりました。

なお、

昨年「桐蹴会通信」でもお知らせしたように、

第五回総

会において、S41卒の柏木さんが新会長

に、二期四年間会長を務めていただいた

S27卒の中田さんが名誉会長に各々選任

されました。

さて、今年度の第六回総会・OB戦・

親睦会は、十一月十六日(日)、母校で

開催する予定です。九月頃に改めて詳細

のご案内を差し上げますが、できるだけ

多くの方が参加されますことを願っております。

桐蹴会のホームページにも掲載

しますのでアクセスしてみてください。

また、今年一月から月例でグラウンド

を借りて練習会を実施しています。毎回、

十歳代から七十歳代まで、およそ二十

三十人が参加されてゲームを中心に体を

動かしています。ホームページの掲示板

に予定を記載していますのでご覧ください

。(検索サイトで「桐蹴会」と入力↓

クリック)

なお、今年度(平成十九年十一月から平成二十年十月)の会費(三千円)をまだ納入されていない方は、是非とも納入してくださいませようお願いします。できませすれば、賛助金(一口千円、何口でも可)も併せてお願いします。(振込口座は、郵便貯金口座番号00920-2-245834、桐蹴会)となっております。

※ご自身ならびに同輩などの情報提供、お問い合わせなどは左記までお願い致します。

〒五五五-〇八七四

吹田市古江台五-三十三-三〇八

TEL&FAX 〇六-六八三-二一九八七

メールアドレス [nogun131@renai.jp](mailto:nogun131@renai.jp)

野口 幸一 (S54卒)

## 編・集・後・記

今年には総会が開催されます。抽選会もある画期的な総会ですので、若い方も是非ご参加ください。昨年執り行われた六十二年目の卒業式は感動的な式となりました。新聞・テレビ等で存じの方も多いと思います。総会でビデオを上映しますが、本紙面でも経緯を含め掲載しております。母校と会員とをつなぐ役目を今後共担していきたいと考えておりますので、どうぞお読みくださるようお願い致します。



(大)